

認知症介護基礎研修Eラーニング事業 実施要綱

■名称

認知症介護基礎研修 Eラーニングシステム

■開講目的

認知症ケアに携わる者が、その業務を遂行する上で基礎的な知識や技術と、それを実践する際の考え方を身につけ、チームアプローチに参画する一員として、基礎的なサービス提供を行えるようにするため。

■受講対象者

主に介護保険施設や事業所などにおいて、介護に直接携わる職員のうち、医療や福祉関係の資格を有さない無資格者。(有資格者も受講できるものとする。)また、株式会社クーリエが認知症介護基礎研修の実施主体として指定を受けている自治体にある事業所に在籍する職員が受講可能。指定を受けていない自治体にある事業所の職員や事業所に所属していない場合は、受講はできない。

■受講に要する費用

完全無料。受講に必要な「みんなの介護マーケット」への会員登録も無料としている。

■実施場所、研修期間、動作環境

Eラーニングシステムにて、およそ150分の受講。パソコン、スマートフォン、タブレットより受講可能で、Microsoft Edge、Google Chrome、Firefox、Safariを推奨ブラウザとしている。(いずれも最新版推奨。)

■プログラム

序章 認知症を取り巻く現状

研修の目的と認知症を取り巻く現状を解説。

0. 研修の目的

1. 認知症施策推進大綱

第1章 認知症ケアの基礎となる理念や考え方

認知症ケアの基礎となる理念や知識を学習。

1. パーソン・センタード・ケア
2. 偏見と誤解があった認知症ケアの変遷
3. 介護者が持つべき3つの視点
4. 生活における意思決定支援

第2章 認知症の定義と原因疾患

認知症とは、どういった症状なのか。その定義と原因疾患について学習。

1. 認知症とはなにか
2. アルツハイマー型認知症の原因と主な症状
3. 血管性認知症の原因と主な症状
4. レビー小体型認知症の原因と主な症状
5. 前頭側頭型認知症の原因と主な症状

第3章 認知症の中核症状と行動・心理症状

中核症状と行動・心理症状の定義や違いを学び、その対応について学習。

1. 中核症状と行動・心理症状の違い
2. 日常生活における中核症状の影響
3. 中核症状が心理面に与える影響
4. 行動・心理症状の考え方
5. 認知症ケアの最適な環境
6. 認知症の人への適切な健康管理

第4章 認知症ケアの技術と実践上の注意点

認知症ケアに関する技術と実践上の注意点を具体例を交えながら学ぶ。

1. 認知症の治療
2. 認知症の人への不適切な対応事例
3. 認知症の人への適切な関わり方
4. 認知症の症状への不適切な対応事例
5. 各症状への適切な関わり方
6. 意思決定支援の具体的な方法
7. チームケア
8. 家族介護者への理解
9. 家族介護者への支援

終章 認知症ケアの高まる重要性

研修を終えた皆様へ

■監修者

新井 平伊 様

アルツククリニック東京院長／順天堂大学医学部名誉教授
公益財団法人認知症予防財団会長

■プログラムを審査した認知症介護指導者

宇恵 和美 様

愛知県認知症介護指導者

所属：特別養護老人ホームぬく森・第二

受講済：認知症(痴呆)介護指導者養成研修

■募集案内の方法

自治体ホームページ内から遷移可能なランディングページにて案内。

(URL <https://market.minnanokaigo.com/learning/lp>)

株式会社クーリエの架電対応チームから、各事業所への架電やメールでの案内も対応する。